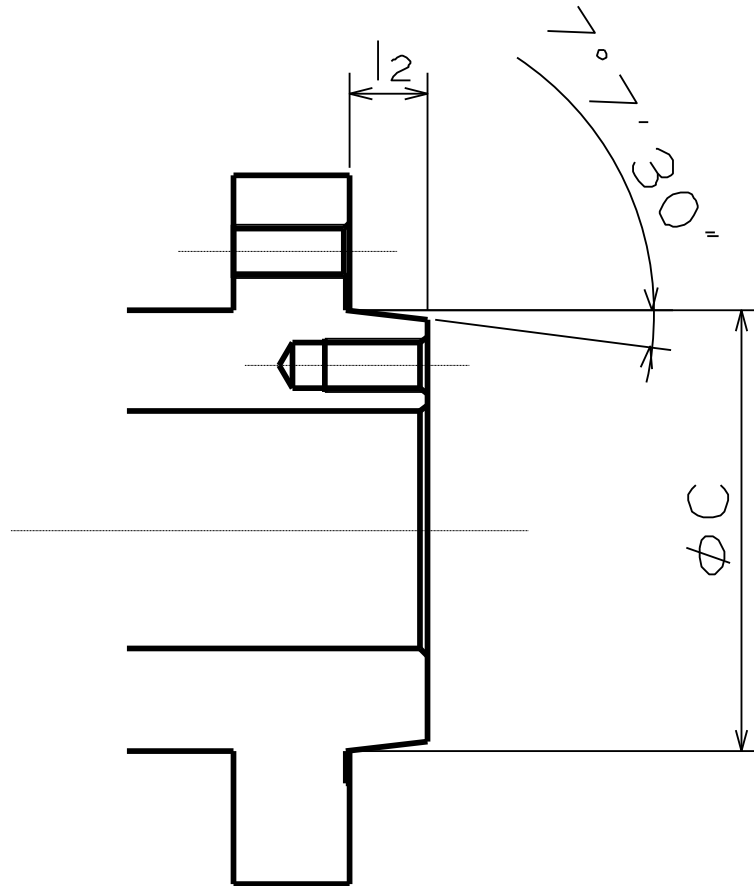


# 旋盤主軸端形状 A1ノーズ



	φC 公差	l <sub>2</sub> 公差
5ノーズ	82.563 +0.010~0	14.288 0~-0.025
6ノーズ	106.375 +0.010~0	15.875 0~-0.025
8ノーズ	139.719 +0.012~0	17.462 0~-0.025

・φC・l<sub>2</sub>寸法が各機械メーカーによって違う為  
直付タイプを選択する場合は機械メーカー  
及び機械型式の確認が必須です。

例) φC0.005変わればl<sub>2</sub>が0.02変わる為  
2面拘束とならない。(ノーズは1:4である)

# 旋盤主軸端形状 A1、A2の違い

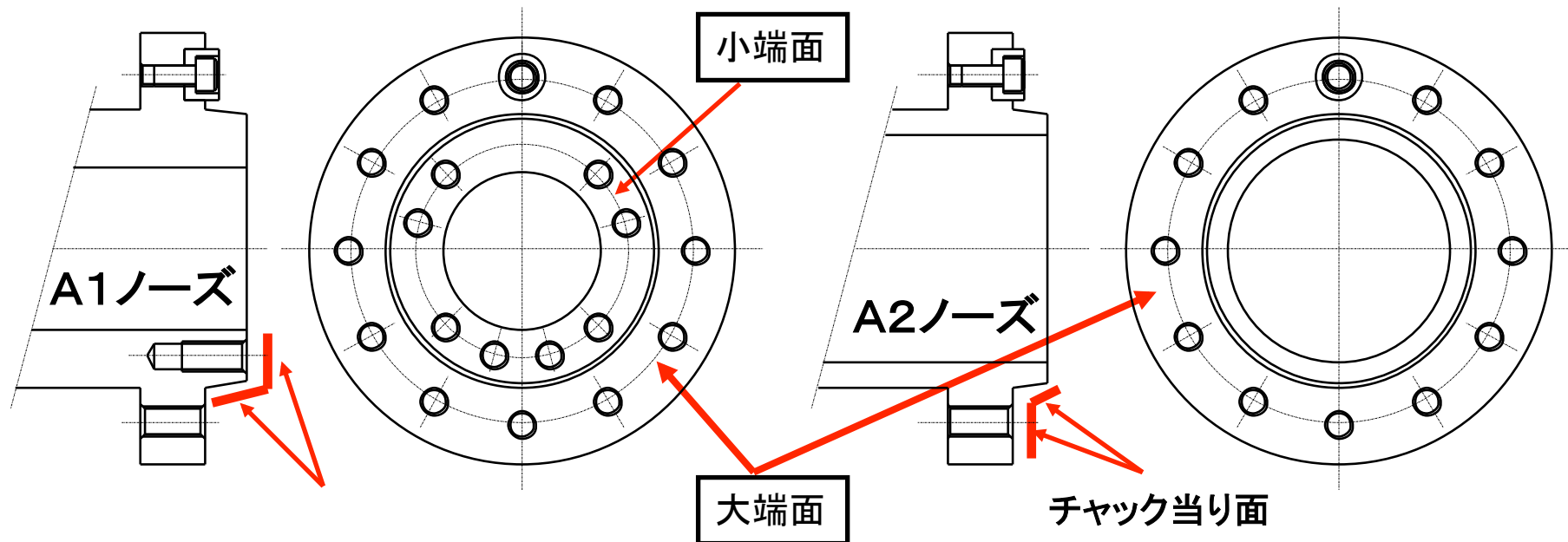
ショートテーパ形の主軸形状について、A1ノーズ形、A2ノーズ形がある。

○A1ノーズ形(スクロールチャック・  
パワーチャックが取り付け可能)

- ・ ショートテーパ根元のフランジ部とショートテーパ先端の両端面の2ヶ所にチャック取付用のボルト穴をもつ形状で汎用旋盤に適している。
- ・ A2ノーズ用のチャックは、A1ノーズ形の主軸にも取り付けが可能。

○A2ノーズ形(インデンチャック・  
パワーチャックが取り付け可能)

- ・ ショートテーパ根元のフランジ部のみにチャック取付用のボルト穴をもつ形状
- ・ A1ノーズ用のチャックは、A2ノーズ形の主軸には取り付け不可能。
- ・ 貫通穴が大きく取れる為、NC旋盤に適している。



# A1、A2ノーズへのチャック取付例

